

「ガザの持続的平和と復興のために ～UNRWA清田明宏局長に聞く～」

趣旨：2023年10月7日のハマスによるイスラエルへの越境攻撃と、その後のイスラエル軍によるガザへの攻撃で、ガザは壊滅的打撃を受けました。1200人以上のイスラエル市民と、4万7千人を超えるガザの住民が殺害され、10万人以上が負傷。負傷後も十分な治療を受けられず、栄養不足も重なり破滅的な人道破綻に直面しています。2025年1月19日に停戦が実現しましたが、持続的に平和が維持されるか全く予断を許しません。

ガザの人たちの命を繋ぐ活動の最前線に立つUNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)の清田明宏保健局長にオンラインでご講演頂き、その後、ガザの持続的平和と復興のために日本人に何ができるか、共に議論します。

■ご講演:

UNRWA (パレスチナ難民救済事業機関)
清田明宏保健局長
(2024年度読売国際協力賞受賞)



■司会・統括：東大作 上智大学グローバル教育センター教授

2025年2月6日(木) 21:00—22:30 (日本時間)

ズームによるオンラインセミナーです(登録された方に事前にズームリンクをお伝えします。要事前予約。)

主催：上智大学国際関係研究所

共催：上智大学人間の安全保障研究所
Japan Global Dialogue (NPO)

お問合せ：上智大学国際関係研究所 iir-ofc@sophia.ac.jp

